

うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.519

平成25年 1月



白水阿弥陀堂

目 次

- | | | | |
|-------------------------------|----|--------------------------------|----|
| ●新年のごあいさつ…………… | 2 | ●第9回 【水土里ネット・施設めぐり健康ウォーク】…………… | 14 |
| ●平成25年度 農林水産予算の骨子 …… | 3 | ●しらかわ食と職の祭典 「がんばるぞ！ 白河 食と職の市」… | 15 |
| ●平成24年度補正予算・平成25年度予算の概要 …… | 4 | ●東根堰の施設めぐり…………… | 15 |
| ●要請活動…………… | 8 | ●あぶくまの水源を歩こう…………… | 16 |
| ●第35回全国土地改良大会（沖縄大会）…………… | 10 | ●第6回 あぶくまふるさとウォーク…………… | 16 |
| ●「会津北部・塩川西部土地改良区」 合併予備契約調印式… | 12 | ●ISO9001：2008 定期審査 …… | 17 |
| ●平成24年度 21世紀土地改良区創造運動大賞 …… | 13 | ●平成24年 秋の叙勲 …… | 17 |
| ●第7回 【水土里ウォークinきたかた2012】…………… | 14 | ●水土里ネット福島に対するアンケート調査結果…………… | 18 |

皆様と共に農村の復興のため、
歩いて行きます。



水土里ネット福島



新年のごあいさつ

みどり
水土里ネット福島

(福島県土地改良事業団体連合会)

会長 車田次夫

平成25年の新春を迎えられましたこと、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご壮健で良き新年を迎えられたことと、心からお喜びを申し上げます。

また、日頃より本会の業務推進に格別のご理解とご協力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、震災から、1年10ヶ月が過ぎようとしておりますが、農地やため池をはじめとする農業水利施設の除染への対応などを含め、営農再開に向けては、数多くの課題が残されております。

とりわけ、昨年、農林水産省より農地の除染技術の中間とりまとめが公表され、また、環境省では除染技術実証事業による採択技術が公表されるなど、農村環境・生活環境に関する除染手法が一步步確立されているところであります。

しかしながら、一方では、農業従事者の高齢化や後継者不足などの問題は、震災により深刻さを増しており、さらに、風評被害による農業収入や営農意欲の減退など、本県の農業はかつてない窮地に置かれております。

本会といたしましても、復興に向けて、いろいろな形で全力を尽くして支援していく所存であります。

ところで、現在、関係省庁が連携して進めている大きな政策が「再生可能エネルギー」の普及・拡大であります。

本会といたしましても、農業用水を活用した小水力発電、農業施設の屋根や土地改良施設の余剰残地を活用した太陽光発電に大きな可能性があることから、会員皆様の導入検討のお役に立てるよう窓口を設置いたしました。

また、本会が所有する水土里情報システムは、震災による沿岸部農地の塩害土壌調査や放射線モニタリング調査など、今後の復旧のための基礎調査資料作成に大きな成果をもたらしました。

今後は、「人・農地プラン」を策定するうえで必要となる農地利用図の作成など、本システムの更なる利活用を模索しながら、本県農業の振興・発展に寄与して参りたいと考えております。

引き続き、農地や農業水利施設の体質強化を図るため農地の大区画・汎用化の推進はもちろんですが、放射性物質の拡散防止対策を含む農業政策への様々な諸問題に対し、農家の皆様方の声を政府等へ提起して参る所存であります。

結びに、本年は復興に向けた2年目となります。活力あふれる「ふくしま」の農村社会を築くため、全力で取り組んで参ります。

皆様にとって新しい年が幸多い年となりますよう、お祈り申し上げまして新年のご挨拶といたします。

平成25年度 農林水産予算の骨子 (H25.1)

1. 総括表

区 分	24年度 予算額	25年度 概算決定額 A	(24年度補正追加額)	
			補正額 B	A + B
	億円	億円	億円	億円
農林水産予算総額	21,727	22,976	10,039	33,015
(対前年度比)	—	105.7%	—	152.0%
1. 公共事業費	4,896	6,506	5,512	12,018
(対前年度比)	—	132.9%	—	245.5%
一般公共事業費	4,703	6,314	5,055	11,369
(対前年度比)	—	134.2%	—	241.7%
災害復旧等事業費	193	193	457	649
(対前年度比)	—	100.0%	—	337.2%
2. 非公共事業費	16,831	16,469	4,528	20,997
(対前年度比)	—	97.9%	—	124.8%

- (注) 1. 金額は関係ベース。
 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
 4. 上記には、東日本大震災復興特別会計への繰入れ分（津波対策33億円）を含む。

2. 公共事業費一覧

区 分	24年度 予算額	25年度 概算決定額 A	(24年度補正追加額)	
			補正額 B	A + B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備	2,129	2,627	1,640	4,267
(対前年度比)	—	123.4%	—	200.4%
林野公共	1,748	1,796	1,270	3,067
(対前年度比)	—	102.8%	—	175.4%
治山	575	611	605	1,216
(対前年度比)	—	106.3%	—	211.6%
森林整備	1,173	1,185	665	1,850
(対前年度比)	—	101.0%	—	157.7%
水産基盤整備	690	721	485	1,206
(対前年度比)	—	104.5%	—	174.7%
海岸	39	40	10	50
(対前年度比)	—	103.6%	—	129.3%
農山漁村地域整備交付金	96	1,128	1,650	2,778
(対前年度比)	—	1,173.6%	—	2,889.8%
一般公共事業費計	4,703	6,314	5,055	11,369
(対前年度比)	—	134.2%	—	241.7%
災害復旧等	193	193	457	649
(対前年度比)	—	100.0%	—	337.2%
公共事業費計	4,896	6,506	5,512	12,018
(対前年度比)	—	132.9%	—	245.5%

- (注) 1. 金額は関係ベース。
 2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3. 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
 4. 上記には、東日本大震災復興特別会計への繰入れ分（津波対策33億円）を含む。
 5. 治山事業には、国有林野事業特別会計の一般会計化に伴い増加する経費を含む。

平成24年度補正予算・平成25年度予算の概要

【農村振興局】 (H25.1)

1. 主要予算総括表

(単位：億円)

事 項	24年度 当初予算額	24年度 補正額	25年度 概算決定額	対前年度 当初比(%)
一般会計				
非公共事業	960	71	955	99.5%
公共事業	2,339	3,588	3,869	165.4%
農林水産基盤整備事業	2,226	3,290	3,756	168.8%
農業農村整備事業	2,129	1,640	2,627	123.4%
農山漁村地域整備交付金	96	1,650	1,128	1,173.6%
海岸事業	32	10	32	100.6%
災害復旧事業等	82	288	82	100.0%
農村振興局予算総額	3,300	3,659	4,825	146.2%

- (注) 1. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 2. 農山漁村地域整備交付金は、林野庁及び水産庁分を含む農林水産省の全体の額である。また、東日本大震災復興特別会計への繰入れ分（津波対策6億円）を含む。
 3. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

2. 非公共予算の概要

(単位：百万円)

事 項	24年度 当初予算額	24年度 補正額	25年度 概算決定額	対前年度 当初比(%)
主な事項				
農地・水保全管理支払交付金(拡充)	24,695	—	28,163	114.0%
中山間地域等直接支払交付金(拡充)	25,917	—	28,463	109.8%
都市農村共生・対流総合対策交付金(新規)	—	—	1,950	皆増
「農」のある暮らしづくり交付金(新規)	—	—	550	皆増
農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策のうち 小水力等再生可能エネルギー導入推進事業(拡充)	692	120	1,010	145.9%
特殊自然災害対策施設緊急整備事業	—	1,000	100	皆増
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(拡充)	4,075	6,000	6,233	153.0%
耕作放棄地再生利用緊急対策交付金	226	—	203	89.8%
農家負担金軽減支援対策事業(拡充)	7,982	—	6,254	78.4%
諫早湾干拓潮受堤排水門の開門への対応に係る経費	4,840	—	16,383	338.5%
計	96,040	7,120	95,540	99.5%

- (注) 計数整理の結果、異動を生じることがある。

農業農村整備事業関係予算について

(単位：億円)

	H21予算	H25概算決定
○当初予算	5,772	3,362
・農業農村整備事業	5,772	2,627
・農山漁村地域整備交付金		735
○補正予算	(H20補正)	(H24補正)
	48	2,540
・農業農村整備事業	48	1,640
・農山漁村地域整備交付金		900
計	5,820	5,902

(注) 計数は四捨五入によっているの、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業の概要

(国費、単位：億円)

事 項	24年度 当初予算額	24年度 補正額	25年度 概算決定額	対前年度 当初比(%)
農業農村整備事業	2,129	1,640	2,627	123.4
○国営かんがい排水	1,162	333	1,168	100.6
○国営農地再編整備	86	39	140	161.5
○国営総合農地防災	167	97	167	100.0
○直轄地すべり	17	4	16	92.4
○水資源開発	55	19	57	103.3
○特定中山間保全等整備	24	—	8	31.9
○戸別所得補償実施円滑化基盤整備	326	—	—	—
○農業競争力強化基盤整備				
うち農業競争力強化基盤整備	—	198	324	皆増
うち農業基盤整備促進	—	296	220	皆増
うち農業水利施設保全合理化	—	140	44	皆増
○地すべり対策	29	19	29	100.0
○震災対策農業水利施設整備				
うち震災対策農業水利施設整備	24	284	70	293.8
うち農村地域防災減災	—	205	168	皆増
○公害防除特別土地改良	5	1	3	59.6
○土地改良施設管理	148	6	145	98.3
○その他	87	—	69	79.1

※ 計数は四捨五入によっているの、端数において合計とは一致しないものがある。

平成24年度 農林水産関係補正予算の概要 (農村振興局関係部分抜粋)

農村振興局関係予算額 **3,659億円**

非公共： 71億円

公共： 3,588億円

1 国土強靱化・競争力強化

(1) 農林水産業の基盤整備

- ① 農業農村整備事業 <公共> **1,640億円**
・ 老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策や担い手への農地集積の加速化、農業の高付加価値化等のための水田の大区画化・汎用化、畑地かんがい等の整備を推進
- ⑤ 海岸事業 <公共> **10億円**
・ 高潮等から背後地を防護するための海岸保全施設の防災・減災対策を推進
- ⑥ 農山漁村地域整備交付金 <公共> **1,650億円**
・ 地方の裁量によって実施する農山漁村の防災・減災対策や農林水産業の基盤整備を支援

(2) 農林水産関係施設等の整備

- ④ 特殊自然災害対策施設緊急整備事業 **10億円**
・ 火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備や、これと一体的に行う用水確保対策・営農体系改善活動等を支援

3 「攻めの農林水産業」の前倒し

(1) 再生可能エネルギー対策

- ③ 小水力等再生可能エネルギー導入推進事業 **1億円**
・ 小水力発電等に係る調査設計等の支援

(2) 農山漁村の所得増大対策

- ② 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 **60億円**
・ 生産施設や地域間交流拠点施設の整備、避難所に利用される地域コミュニティ施設の補強・機能強化等を支援

4 その他追加財政需要等

- ⑤ 災害復旧事業等 <公共> **457億円**
・ 豪雨、台風等の被害に係る災害復旧事業等を早期に実施
※農村振興局分 288億円

平成25年度 農林水産予算の重点事項

～攻めの農林水産業の展開～

(農村振興局関係部分抜粋)

農村振興局関係概算決定額 **4,825億円**

(3,300億円)

(※) 各事項の下段()内は、平成24年度当初予算額

1 国土強靱化・競争力強化

(1) 農林水産業の基盤整備

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| ① 農業農村整備事業 <公共> | 2,627億円【補正予算】
(2,129億円) 1,640億円 |
| ・老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策や担い手への農地集積の加速化、農業の高付加価値化等のための水田の大区画化・汎用化、畑地かんがい等の整備を推進 | |
| ⑤ 農山漁村地域整備交付金 <公共> | 1,128億円【補正予算】
(96億円) 1,650億円 |
| ・地方の裁量によって実施する農山漁村の防災・減災対策や農林水産業の基盤整備を支援 | |

2 経営所得安定対策等

(2) 農業の多面的機能を踏まえた直接支払

- | | |
|------------------------------------------------------|------------------|
| ① 中山間地域等直接支払交付金 | 285億円
(259億円) |
| ・中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付 | |
| ② 農地・水保全管理支払交付金 | 282億円
(247億円) |
| ・地域共同による農地・農業用水等の管理や施設の長寿命化のための活動等を支援 | |

3 担い手・農地総合対策

- | | |
|------------------------------------------|---------------------|
| ④ 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金 | (所要額)45億円
(35億円) |
| ・荒廃した耕作放棄地を再生利用するための雑草・雑木除去や土づくり等の取組への支援 | |

6 再生可能エネルギーの大々的な展開

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ① 農山漁村再生可能エネルギー導入等促進対策 | 12億円【補正予算】 |
| ・農山漁村における再生可能エネルギー発電事業による収入を地域の農林漁業の発展に活用する取組の構想・計画策定等の推進、小水力発電等に係る調査設計等を支援 | |
| | ※農村振興局分 1億円
10億円
(7億円) 小水力等再生可能エネルギー導入推進事業 |

7 食の安全・安心、都市と農山漁村の共生・対流等

- | | |
|---------------------------------------------------------------|---------------------------|
| ③ 都市農村共生・対流総合対策交付金 | 20億円
(-) |
| ・子どもの農山漁村宿泊体験など都市と農山漁村の共生・対流を進める取組や人材の活用・育成、農産物加工・販売施設の整備等を支援 | |
| ④ 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 | 62億円【補正予算】
(41億円) 60億円 |
| ・農山漁村における定住・地域間交流を促進するための施設等の整備 | |
| ⑥ 「農」のある暮らしづくり交付金 | 6億円
(-) |
| ・都市において、市民農園等の整備、新鮮な地元産農産物の提供、防災農地の保全など「農」のある暮らしづくりを支援 | |

※この他、諫早湾干拓開門対策経費として164億円を計上(国庫債務負担行為を併せて措置)

要 請 活 動

平成25年度県予算編成に対する要望について

平成24年9月19日(水)に本会は、福島県議会に平成25年度県予算編成に対する要望活動を行った。

【要望内容】

I. 東日本大震災による被災地の農業施策の着実な推進について

1. 東日本大震災による被災地の農業施策の着実な推進について
 - (1) 農地及び農業用施設の早期復旧について
2. 福島復興再生基本方針の円滑な実施について
3. 除染と一体となった農業農村整備事業の実施並びに農業水利施設の除染対象としての明確化について
 - (1) 農地の除染と農業農村整備事業の一体的実施
 - (2) 農業水利施設の除染対象施設としての明確化
 - (3) 森林除染の明確化
4. 東日本大震災復興交付金について



自由民主党福島県議会議員会

II. 土地改良区の運営支援並びに農家負担金の軽減について

1. 土地改良区の運営支援について
 - (1) 原発事故に起因する避難区域内の土地改良区への支援
 - (2) 地震及び津波区域の土地改良区への支援
2. 被災土地改良区復興支援事業について
3. 農家負担金の軽減支援対策について



福島県議会民主・県民連合議員会

III. 新たな土地改良長期計画の推進について

1. 農業農村整備予算の所要額の確保について
 - (1) 農業水利施設の計画的更新整備並びに農地整備と水田の汎用化の推進
 - (2) 農業用ダム・ため池等の耐震性の検証と補強対策
 - (3) 耕作放棄地の発生防止対策
2. 小水力発電など再生可能エネルギーの導入促進について
 - (1) 農業用水を活用した小水力発電の推進
 - (2) 定期的な更新整備と非かんがい期における水利権の弾力的運用



公明党福島県議会議員団



福島・みどりの風

平成25年度農業農村整備事業予算の必要額確保並びに 東日本大震災からの再生・復興に関する要請について

平成24年11月30日(金)に東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会は、農林水産省、復興庁、県選出国會議員に平成25年度農業農村整備事業予算の必要額確保並びに東日本大震災からの再生・復興に関する要請活動を行った。

【要請内容】

《農業農村整備事業等関係》

1. 農業の体質強化のための基盤整備予算の確保
2. 再生可能エネルギーの加速的な推進
3. 老朽化した農業水利施設の防災・減災対策
4. 水土里情報の活用拡大を図る支援措置
5. 「地域自主戦略交付金」並びに「農山漁村地域整備交付金」の交付額の増額
6. 環太平洋経済連携協定（TPP）参加反対

《東日本大震災関係》

1. 被災地の農業施策の着実な推進
2. 除染と一体となった農業農村整備事業の実施
3. 震災対策農業水利施設整備事業の予算確保
4. 被災土地改良区復興支援事業の拡充
5. 農家負担金の助成制度の拡充と創設
6. 東日本大震災復興交付金の拡充

併せて、福島県土地改良事業団体連合会は、「農業水利施設の耐震強化と放射性物質の拡散防止対策について」の要望書を提出した。

【要望内容】

1. 震災対策農業水利施設整備事業の財政支援について
2. ため池等汚染拡散防止実証事業について
3. 農業水利施設の除染対象としての明確化について



復興庁 田野井参事官へ要請書の説明

第35回全国土地改良大会（沖縄大会）

平成24年11月21日(水)、全国水土里ネット及び水土里ネット沖縄の主催による「第35回全国土地改良大会」が「水土里豊かな守禮の邦 美らさん真心 おーきな和」をテーマに、沖縄県那覇市の「奥武山総合運動場 武道館アリーナ棟」を会場に全国から、約2,800名を超える土地改良関係者が参加して開催された。



水土里ネット沖縄古謝会長挨拶



全国水土里ネット野中会長挨拶

式典では、水土里ネット沖縄の古謝景春会長が開催県挨拶、全国水土里ネットの野中広務会長が主催者挨拶、仲井眞沖縄県知事から歓迎の挨拶、郡司彰農林水産大臣（代理：林田直樹農林水産省農村振興局次長）の来賓祝辞のあと、土地改良事業功績者表彰式が行われた。

福島県からは、永年に亘り土地改良事業の推進に多大のご尽力をいただいた猪狩利衛富岡町土地改良区理事長が農林水産省農村振興局長表彰、増井俊弘柳津町土地改良区理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞した。

その後、農林水産省農村振興局林田次長より基調講演をいただき、引き続き行われた「東日本大震災被災地域からの報告」では、渡辺一成南相馬土地改良区・鹿島町土地改良区理事長が、本県からの報告を行った。

大会宣言では、沖縄県農業青年クラブ連絡協議会の仲宗根正人さんと新崎薫さんが、地域農業の再生に向けて農村の「水」「土」「里」を守り、引き継いでいくことを、本土復帰40年を迎えた沖縄の地から高らかに宣言した。

最後に全国水土里ネット吹田幌副会長が閉会の挨拶を行ない、式典の幕を閉じた。



全土連会長表彰受賞
増井柳津町土地改良区理事長（中央）



大会宣言
(仲宗根さんと新崎さん)

「東日本大震災被災地域からの報告」

(第35回全国土地改良大会 沖縄大会)

【福島県からの報告】

渡辺 一成 氏 (南相馬土地改良区・鹿島町土地改良区理事長)

震災前、南相馬市の人口は7万1千人で、震災直後に約1万人にまで減少したが、現在は4万5千人まで回復した。

震災前の農業については、約8,400haの農地の中、稲作を中心に、農業生産額は約100億円をあげていた。そして、当南相馬土地改良区においても受益面積が2,877ha、組合員数は2,513名を擁していた。

しかし、震災による津波で、海岸より最大3.5km内陸まで被害を受け、その面積は区域の約3割に及び、南相馬市管内の被害状況は、死者・行方不明者663名、被害世帯数1,635世帯という惨状に及んだ。現在、復旧に向け、業者が重機を使い、細かいものは、被災農家が組合をつくり手作業で撤去している。

津波被害地区における地域農業の将来に関するアンケート調査によると、現在は自家耕作が半分だが、今後、集落内には担い手がいないとするのが62%、個人では約7割の農家が経営を休止したいとの意向を示した。これらを踏まえ、農業再生に向け、①大規模経営・法人化 ②6次産業化の推進 ③再生可能エネルギーの推進という復興ビジョンを打ち出した。

農地の除染では、表土削り取りや反転耕といった技術面のみならず、制度面や経済面を含めた幾つもの困難がある。放射性セシウム作物への吸収抑制剤の活用等を前向きに検討してもらいたい。

さらに、農地の除染と併せて、水源涵養機能を有している森林の除染、ため池、農業用排水路の除染が必要。また、今後の課題として、安全に避難することへの準備、海岸沿いの水門管理者に対する人的保障のあり方を考える必要がある。



「東日本大震災復興状況写真パネル展示」

(第35回全国土地改良大会 併催)



「会津北部・塩川西部土地改良区」 合併予備契約調印式

平成25年3月1日、新「会津北部土地改良区」誕生。

平成24年12月3日(月)、喜多方市の会津北部、塩川西部両土地改良区の合併予備契約調印式が、会津北部土地改良区で行われた。

式には両団体関係者ら約70人が出席し、統合整備推進協議会長の野内芳彦県会津農林事務所企画部長が式辞を述べた後、関係者の見守る中、会津北部土地改良区の穴澤晃理事長、塩川西部土地改良区の山田義人理事長が合併予備契約書に調印し、あいさつした。

両土地改良区理事長のあいさつ後、県会津農林事務所長(代理：土屋広治県会津農林事務所次長)、山口信也喜多方市長、県土地改良事業団体連合会長(代理：山田忠彦県土地改良事業団体連合会副会長)が祝辞を述べた。



合併予備契約書に調印する両理事長



握手を交わす山田理事長(左)と穴澤理事長

両土地改良区は受益地593haの重複、大規模ほ場整備事業の完了などの理由から、事業の効率化などを旨として平成24年7月に統合整備推進協議会を設置し、合併を検討してきた。

両土地改良区は、会津北部が塩川西部を吸収合併する形で、平成25年3月1日、新「会津北部土地改良区」が誕生する。

合併後の新「会津北部土地改良区」は面積4,725.9ha、組合員は3,925人となる。



祝辞を述べる本会の山田副会長

平成24年度 21世紀土地改良区創造運動大賞

21大賞受賞地区に “^{もりびと}水土里ネット矢吹原「水の守人チャレンジャー」” 決定。

去る平成24年12月11日(火)、東京都砂防会館別館3F「六甲」において、平成24年度21世紀土地改良区創造運動大賞中央選考委員会が開催された。

中央選考委員会には、各地方選考委員会から推薦された12水土里ネットが参加し、東北ブロックからは、本県の水土里ネット矢吹原(矢吹原土地改良区)と宮城県の水土里ネット大倉川が個々の21創造運動への取り組みについて発表を行った。



創造運動を紹介する鈴木氏(水土里ネット矢吹原)



中央選考委員会

選考の結果、本県の水土里ネット矢吹原が3.11東日本大震災により、羽鳥疏水の歴史上初めて通水不可能という困難の中、復旧を粛々と進めつつ、地域関係団体の強力なバックアップのもと、21世紀創造運動の内部・外部運動を前向きに取り組んできたこと、とくに大きな困難を抱えながらも、学校や関係機関、地域住民との強い絆で活動を展開し、地域の復興を牽引する姿が審査員から高く評価され、「21世紀土地改良区創造運動大賞」に決定した。

1 水土里ネット矢吹原の概要

(1) 地理・環境

矢吹原台地(關田)
(一三大開拓地)

羽鳥疏水
(→ 西水東流構想)

21世紀土地改良区創造運動

水土里ネット矢吹原

羽鳥ダム(羽鳥町)

矢吹・原台地(矢吹町地域)

(3) 次世代への運動 (羽鳥疏水を未来へ) 【外部運動】

① 山前披露 (羽鳥疏水の歴史を学ぶ会)
② 地蔵見学 (羽鳥疏水が土里ネット)
③ 田んぼの学校 (羽鳥疏水が田んぼ)

東北日本大震災
被災者支援活動

バケツ稲
放射能の心配
今後の課題

羽鳥疏水、矢吹・原開拓の継承
児童たちの郷土に対するアテンティブな形成
農業に対する認識、理解の向上

懸命な復旧作業、応急措置、仮工事が進む → 羽鳥疏水が最優先で復旧!

平成24年5月 羽鳥疏水に水が戻る

橋が再開される

(4) さすねね! 矢吹原! (新たな役割)

復興は終わっていない!
地元の山並み、雪道は、矢吹が原の村びにい
羽鳥の水のそばに、自然の恵み限りなし
田園の町、あふ矢吹

「田園の樹と羽鳥疏水」
「開拓の歴史と開田」

「羽鳥疏水の未来への想い」
「農耕魂、開拓の精神」
「豊かな地域への尽力」

Mind・Spirit・Pride

これらを守り未来へ繋ぐこと = 水土里ネット矢吹原の役割

創造運動を特別なものではなく「継続」していき、
農家のポイント、運動のポイントを整理し、21高い活動を行っている。

3 創造運動の理念

ワード → 羽鳥疏水・矢吹の春開拓

「田園の樹と羽鳥疏水」
「開拓の歴史と開田」

「羽鳥疏水の未来への想い」
「農耕魂、開拓の精神」
「豊かな地域への尽力」

Mind・Spirit・Pride

これらを守り未来へ繋ぐこと = 水土里ネット矢吹原の役割

創造運動を特別なものではなく「継続」していき、
農家のポイント、運動のポイントを整理し、21高い活動を行っている。

第7回【水土里ウォークinきたかた2012】 (日中ダムを歩こう!!)

水土里ネット会津北部主催による、「第7回水土里ウォークinきたかた2012」が平成24年10月21日(日)に開催された。

今回は、市民ら約170人が参加し、日中ダム管理所をスタートし、紅葉が始まる山の風景を堪能しながらダム堤体を望む6kmのコースを楽しんだ。

ゴール後には、お楽しみ抽選会やスタッフが準備したおいしい豚汁が参加者全員に振る舞われた。



第9回【水土里ネット・施設めぐり健康ウォーク】 (土地改良施設を知ろう!)

会津南部地区管理体制整備促進協議会、水土里ネット会津大川主催による、「第9回水土里ネット・施設めぐり健康ウォーク」が平成24年10月21日(日)に開催された。

今回は、本郷運動場をスタート・ゴールに行われ、町民ら約80人が参加し、御用地分水庭、本郷発電所見学では施設との関わりについて説明を受け、水車の公園等を巡る延長7kmのコースを楽しんだ。

ゴールでは、お楽しみ抽選会やスタッフが準備したおいしい芋汁、おにぎりが参加者全員に振る舞われた。



しらかわ食と職の祭典 「がんばるぞ！ 白河 食と職の市」

平成24年10月27日(出)・28日(日)、2日間にわたり白河市駅前イベント広場をメイン会場に、しらかわ食と職の祭典実行委員会主催による「がんばるぞ！ 白河 食と職の市」が開催され、市内外から多数の来場者で賑わった。

本祭典は市内各産業の協働、中心市街地の活性化をテーマとして、地場産業のPRと販路の拡大、地域産業や資源を活かした観光の振興を図り、地域の振興と中心市街地の賑わいを創出することを目的に毎年開催されている。



今年も水土里ネットあぶくまが中心となる阿武隈上流管理体制整備促進協議会が土地改良区や西郷ダム、農業用水の役割等を市民に広く知ってもらおうと、会場内ブースでパネルの展示、アンケートを行った。

協議会ブースには、多くの人がつめかけ、パネルや協議会からの説明をとおして土地改良区の役割、身近にある農業用水の大切さについて広くPRを行った。

東根堰の施設めぐり（農業用水水源地域保全対策事業） ～ふるさと ふくしまの復興をねがって～

農業用水路「東根堰」の大切さを楽しみながら学ぶ「東根堰の施設めぐり」が水土里ネット東根主催で、平成24年10月30日(火)に開催された。

参加者約30名がバスで取水源である東北電力信夫発電所をスタートに施設を移動見学し、大柳円形分水では水質調査を体験するなど、水田に豊かな実りを与える農業用水の重要性を学んだ。



あぶくまの水源を歩こう (農業用水水源地域保全対策事業) ～蓬田岳の紅葉と源流を訪ねる～

平成24年11月11日(日)、福島県主催による「あぶくまの水源を歩こう」が開催され、参加者は蓬田岳から流れる沢の水源を目指しながら、木の実やサワガニを見つけたりと、あぶくまの深まる秋を満喫しながら「森林と水の大切さ」について理解を深めた。

下山後の昼食は餅つきや地元の手作り料理が振る舞われ、昼食後は、「森のはなし」を聞いて森林環境の大切さを学び、またお楽しみ抽選会も行われるなど楽しい一日を過ごした。



第6回 あぶくまふるさとウォーク (農業用水水源地域保全対策事業) ～晩秋の馬洗川溪流と塩の道を歩く～



福島県主催による、第6回「あぶくまふるさとウォーク」が、平成24年11月4日(日)に開催され、参加者約180名が棚田と馬洗川溪流を観ながら10kmと6kmの2コースに分かれ、水源と周辺環境の大切さを感じながらウォーキングを楽しんだ。

コースの中では、塩の道宿場・白髭宿での歴史探訪、昔語り、餅つきや東和元気野菜(ラディッシュ)の収穫体験などが行われた。

ゴール後の昼食では、新米味付けおこわ弁当と郷土料理「ザクザク汁」が振る舞われた。



ISO9001 : 2008 定期審査

去る11月27日(火)~29日(休)の3日間にわたり、認証機関である(財)日本品質保証機構 (JQA) による、当該マネジメントシステムが継続して要求事項に適合しているか否かを審査する定期審査が実施された。

本会では昨年、平成24年2月16日に登録の更新をうけており、今回は経営計画、受託、設計、換地、測量、水土総合強化対策事業 (管理指導)、工事監理、維持管理、委託、購買、教育訓練の各プロセスについて審査をうけた。

その結果、適用規格 [ISO9001 : 2008] の中で改善指摘事項が発見されず、登録されているマネジメントシステムについて、システムが維持されているとの審査報告をうけた。



管理責任者インタビュー



測量プロセス

平成24年 秋の叙勲

去る11月3日付で、内閣府より平成24年秋の叙勲受章者が発表され、本会理事の斎藤良道氏 (白河市土地改良区理事長) が農業振興功勞により旭日双光章を受章されました。

栄えある受賞おめでとうございます。



旭日双光章



白河市土地改良区理事長

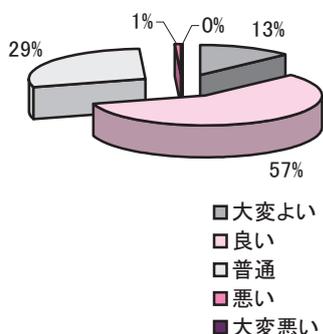
斎藤良道氏

水土里ネット福島に対するアンケート調査結果 ISO9001 顧客満足調査結果 (2011年度)

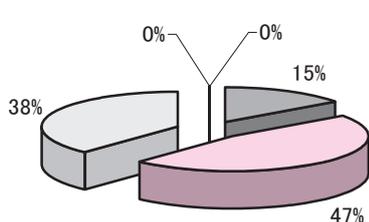
本会では、平成18年度から「現在及び将来の顧客ニーズ」を理解するとともに、顧客要求事項を満たし、顧客の期待に応えるよう努力するため、会員の皆様にアンケート調査を行っています。

業務の着手から納品まで、手順に基づきプロセス監視を行っております。不手際等によって、みな様にご迷惑をおかけした場合には、速やかに是正・改善を図るべく対処してまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。

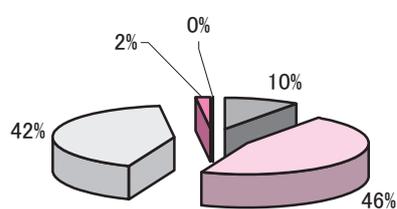
II. 成果品について (品質は?)



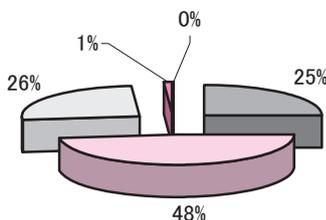
III. サービスについて(1)~(5)平均



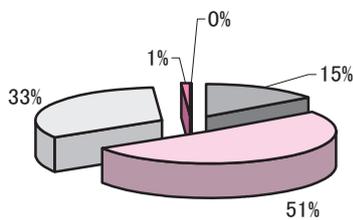
III (1) 企画提案の対応



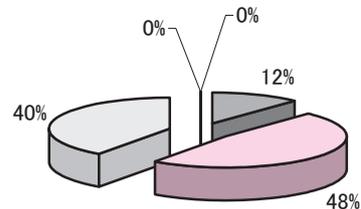
III (2) 相談(支援) 対応



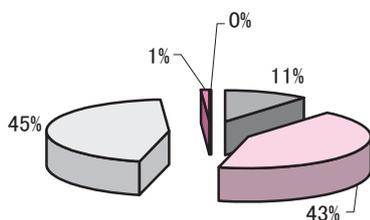
III (3) 情報提供の対応



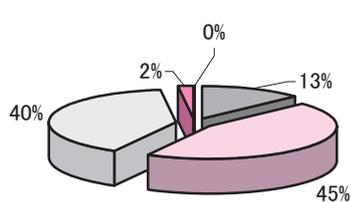
III (4) 研修(説明)会の対応



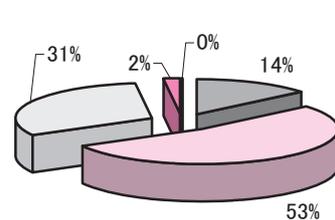
III (5) 審査対応 (会検含)



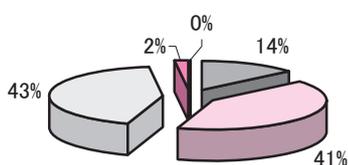
IV. 打合せについて(1)~(4)平均



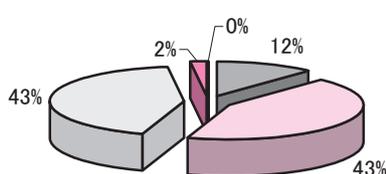
IV (1) 対応 (スピード)



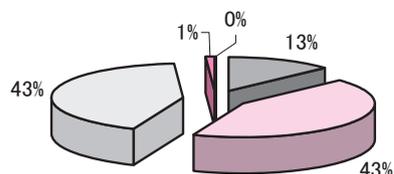
IV (2) 時期 (タイミング)



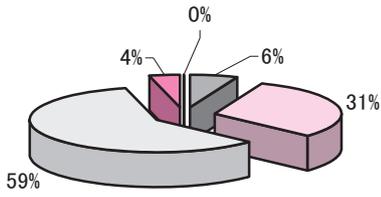
IV (3) 情報提供の対応



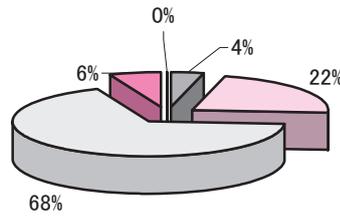
IV (4) 研修(説明)会の対応



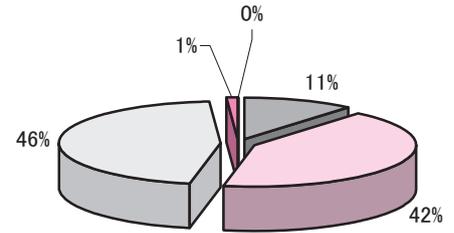
V. 納品について



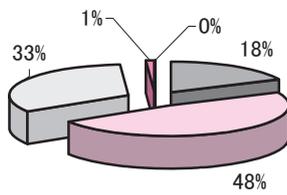
V (1) 工期遵守



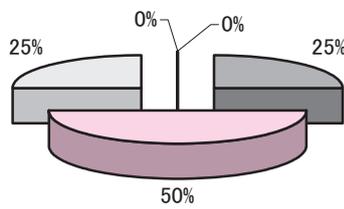
V (2) 説明



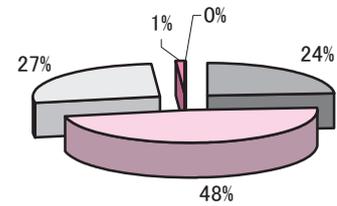
VI. 本会の担当者について



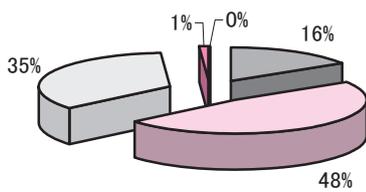
VI (1) 態度・マナー



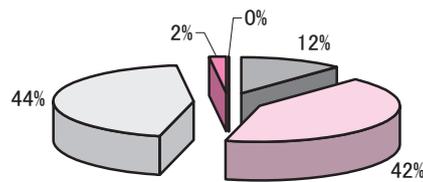
VI (2) 支援・協力



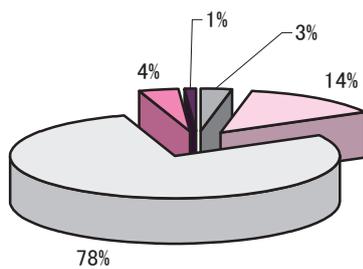
VI (3) 業務の正確度



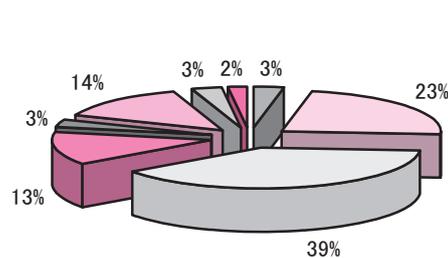
VI (4) 業務の速度



VII. 価格について



VIII. 今後の事業・制度について



- 生産基盤整備
- 土地改良区組織員営強化
- 土地改良施設管理支援
- 農地・水・環境保全向上対策
- 資源循環・環境保全対策
- 農村の総合的整備
- 農業集落排水整備
- その他



県内の土地改良区ホームページをご紹介します。

- 福島市土地改良区 <http://fukutokai.web.fc2.com/>
- 伊達西根堰土地改良区 <http://sky.geocities.jp/datenishine/>
- 安積疏水土地改良区 <http://www.asakasosui.jp/>
- 矢吹原土地改良区 <http://yabukihara.org/>
- 会津北部土地改良区 <http://www.aizuhokubu.or.jp/>
- 会津宮川土地改良区 <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- 雄国山麓土地改良区 <http://www.akina.ne.jp/>
- 猪苗代町土地改良区 <http://www8.ocn.ne.jp/~inadokai/>
- 南相馬土地改良区 <http://midorinet-minamisoma.jp/mission2.html>
- 請戸川土地改良区 <http://www.ukedogawa.jp/>
- 愛谷堰土地改良区 <http://www8.plala.or.jp/aiya/>
- 鮫川堰土地改良区 <http://www.geocities.jp/samegawamdr/>

土地連の登録内容及び有資格者数

土地連の登録内容 (H25.1.1現在)

登録内容	登録年月日・登録番号
ISO9001:2008/JISQ9001:2008 マネジメントシステム登録 	H24.2.16付更新 登録証番号 JQA-QMA13143
建設コンサルタント	H22.12.3付更新 建22第7079号 農業土木部門
一級建築士事務所	H24.4.9付更新 第11(404)1975号
計量証明事業登録	H7.7.3付登録 第34号
測量業者登録	H22.9.7付登録 登録第(1)-032811号
浄化槽保守点検業者登録	H24.5.14付更新 福島県知事登録第1353号
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H23.4.1付認定 第1107号

各種有資格者数 (H25.1.1現在)

NO	資格名称	資格人数
測量業者部門	1 測量士	15
	2 測量士補	24
	3 GIS 2級	2
建設コンサルタント部門	4 技術士(農業部門)	2
	5 技術士補(農業部門)	14
	6 技術士補(環境部門)	1
	7 R C C M (農業土木)	9
	8 R C C M (下水道)	2
建築コンサルタント部門	9 1級建築士	1
	10 2級建築士	1
計量証明事業部門 換地部門	11 環境計量士	1
	12 土地改良換地士	8
	13 土地改良補償業務管理者	5
集落排水、維持管理部門	14 上級農業集落排水計画設計士	6
	15 農業集落排水計画設計士	1
	16 浄化槽技術管理者	18
	17 浄化槽管理士	18
各部門関連資格	18 コンクリート診断士	1
	19 土地改良専門技術者	5
	20 1級土木施工管理技士	7
	21 2級土木施工管理技士	3
	22 1級建築施工管理技士	1
	23 1級電気工事施工管理技士	1
	24 第二種電気工事士	1
	25 第三種電気主任技術者	2
	26 1級管工事施工管理技士	1
	27 2級管工事施工管理技士	3
	28 浄化槽設備士	7
	29 公害防止管理者	1

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載しております。

ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp> にて、ご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地